

# 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立福泉南中学校  
校長 三戸口聖子

中学校区におけるめざす子ども像

豊かな心で人と協力し、将来の夢の実現にむけて努力する子ども

## 令和8年度 重点目標

自ら考え、主体的に学びにむかう人間の育成 ～ゆめの実現に向かって、自律的・探究的に学び続け「確かな学び」「豊かな心」「健やかな体」を身につけた生徒の育成～

- ① 一人ひとりの子どもを大切に、愛情が伝わる教育の推進。
- ② 多様なこどもに向きあい、子どもの可能性を引き出す教育の推進。
- ③ 課題解決にむけて、自ら律し、自己調整を促す教育の推進。

「確かな学び」の現状  
 チャレンジテストや全国学力・学習状況調査において、国語・数学で中央値が大府府値を下回っていることが大きな課題である。小学校からのつまづきが中学校でも継続していることが要因であることが小中連携の取り組みにより解明できた。このことから一人ひとりの子どもが自分の状況を知り、自ら課題を見つけ、学びを進めることができる授業改善が必要である。そして、習得した学びが社会生活に繋がるよう、各教科の見方・考え方を明確にした授業を行い、急速に変化する社会の中で広い視野を持って人生を切り開く力を育成する。

「健全な身体と心の育成」の現状  
 本校生への学校アンケートの結果において、「学校に行くのが楽しい」に対する肯定回答率が毎年上昇している。学校という場所が、信頼できる居心地の良い場所であると感じている生徒が増えたと考える。今年も様々な取り組みを通して、自己肯定感の向上を図りたい。不登校生徒の割合については依然高い状況で減少させることが難しいのが課題である。対話的、協働的に考えさせる場面の充実等、課題解決に向けて自ら律し自己調整を促す教育を進め、自分らしく心と体を調整する力を身につけた心身ともに健康な子どもの育成をめざす。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 ●重点とする取組 ★中学校区での取組	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～1月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	基礎学力の定着	子どもの意欲をそそ一人一人パソコンの活用、個別最適な学びと協働的な学びの充実により基礎学力の定着を図る。	★一人一人パソコンを活用して家庭学習に取り組む等、子どもの主体的な学びを引き出す工夫を行う。	チャレンジテストで各教科中央値と昨年度府平均との差を縮める。	チャレンジテスト	2月～3月			
			●協働的な学びと個別最適な学びができる授業形態を工夫する。	学力プロフィール等での思考・判断の値が昨年度より上昇する。	アンケート等	2月～3月			
	授業改善	自ら課題を見つけ、探求できる授業改善と研修。楽しさから生まれる粘り強く学び通うことができる授業をめざす。	★小中連携による授業づくり研修を行う。	学校群の中で研修委員会と学力向上委員会が連携し研修を行う。	年度末反省		3月		
●各教科の見方・考え方、つながりを考えた授業を工夫する。			教員がTeamsを使用する等、ICTを活用した効果検証を行い肯定的回答が75%以上にする。	アンケート等	2月～3月				
豊かな心・健全な身体	心の教育の充実	教育活動全体を通じた取り組みから自己有用感や相手を思いやることのできる心を育てる教育の充実を図る。	●自己表現ができる活動を取り入れた授業づくり。お互いを認め合える場面、自己存在感を感じる活動の工夫を行う。	「クラスでは自分の意見が言える場面がある」の項目に対する肯定的回答75%以上にする。	アンケート等	2月			
			●「いのちの授業」や総合的な学習により、自分も他者も大切にすることについて考える取り組みを行う。	「人権を尊重する事、いのちの大切さ等について学んでいる」に対する肯定的回答70%以上にする。	アンケート等	2月			
	心と体の充実	心身ともに健康であるとともに安心安全な学校生活を送るためにいじめを許さない、不登校生を作らない学年・学級活動や部活動の充実を図る。	●自己表現ができる活動を取り入れた授業づくりからお互いを認め合える場面が見える活動、いじめを見逃さない教室環境づくりを行う。	「クラスでは自分の意見が言える場面がある」に対する肯定的回答70%以上にする。	アンケート等	3月			
●ガイドラインに則った適正な部活動指導を行う。			各部活動での平日2時間程度、土日3時間程度の活動時間を守り適切な活動を行う。	アンケート等	2月				
地域協働	信頼される学校運営の推進を図る。	●ホームページやtetoruを活用して情報を実際に発信し、オープンスクールの開催と併せて、地域に開かれた学校づくりに努める。	「ホームページやtetoru等で家庭への連絡を適切に行っている」に対する肯定的回答75%以上にする。	アンケート等	3月				
		●地域とともにある学校づくりをめざした「学校協議会」の運営。	地域に開かれた学校として、子どもたちが楽しく過ごせる学校をめざし多方面から意見をいただく。	アンケート等	2月				

校長より (年度末)

学校関係者評価者から (年度末)